

① 基本事項

事業名	地方創生 高社山麓整備事業			科目	款	項目	課名	産業課
					6	1	2	商工観光係
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略				
基本目標	農を基軸とした交流の村づくり			地域産業の振興				
施策	滞在型観光の推進			観光基盤の整備				
事業の目的	高社山の魅力アップのため、施設整備を行い、夏季シーズンの観光産業の振興を図る			事業の目標	高社山入込数増 高社山登山者数増			
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率	
★	高社山登山道整備(事業費18,146千円、654m)			式	1	1	100%	
★	展望台トイレ整備(事業費33,136千円、33㎡)			式	1	1	100%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績		
概算事業費	事業費		51,537千円		51,282千円	
	概算正規職員人件費	0.3人	1,950千円	0.7人	4,550千円	
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円	
	概算人件費計	0.3人	1,950千円	0.7人	4,550千円	
	合計		53,487千円		55,832千円	
正規職員人件費単価		6,500千円		臨時・嘱託人件費単価		1,500千円
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円	
	起債 辺地	99.0%	51,000千円	97.5%	50,000千円	
	一般財源	1.0%	537千円	2.5%	1,282千円	
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円	
	合計	100.0%	51,537千円	100.0%	51,282千円	

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	29年度は必要な施設整備を実施した。 今後は、北信地域の観光資源の一つとして大勢の皆様にご利用いただけるよう、新登山道を利用したイベントを開催し、高社山麓の魅力PRに努める。また、安全な登山道維持に努める。		
評価委員評価	公共性	B	目標達成に向けて継続的なPRやソフト事業・施策の展開が必要。	
	公平性	B		
	有効性	B		
	効率性	B		
	総合	B		

① 基本事項

事業名	地方創生 山岳観光事業			科目	款	項	目	課名	産業課
					6	1	2	係名	商工観光係
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	農を基軸とした交流の村づくり			地域産業の振興					
施策	滞在型観光の推進			観光基盤の整備					
事業の目的	山岳観光を推進し、木島平村の夏季観光産業の振興を図る			事業の目標	カヤの平高原入込数増				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
○	高原シャトル便の運行 利用者数 (事業費6,872千円)			人	100	136	136%		
★	森林ウォーキングイベントの開催 (事業費279千円)			回	1	1	100%		
★	高原観光PRポスターの製作 (事業費419千円)			式	1	1	100%		
★	高社山麓イベント開催補助 (事業費244千円)			式	1	1	100%		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		

※ 区分 ○:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績	
概算事業費	事業費		9,976千円		8,223千円
	概算正規職員人件費	0.3人	1,950千円	0.5人	3,250千円
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円
	概算人件費計	0.3人	1,950千円	0.5人	3,250千円
	合計		11,926千円		11,473千円
正規職員人件費単価		6,500千円		臨時・嘱託人件費単価 1,500千円	
財源内訳	国・県支出金	30.1%	3,000千円	39.6%	3,254千円
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円
	一般財源	46.9%	4,676千円	48.0%	3,943千円
	特財	23.1%	2,300千円	12.5%	1,026千円
	合計	100.0%	9,976千円	100.0%	8,223千円

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	高原シャトル便については、H28年度に旅行者の需要動向を探るため無料で運行し、2年目となるH29年度は前年度の利用者アンケートを基に運行ルート等を改訂し、有料化で運行した。運行実績は天候不順が影響し、見込みを大きく下回ったが、利用者からは一定程度の評価を得ておりその可能性も大きい。今後はより効率的なPRや運行方法に見直し事業を継続したい。		
評価委員評価	公共性	B	民間事業として定着できるよう関係者との検証協議が必要。	
	公平性	B		
	有効性	B		
	効率性	B		
	総合	B		

① 基本事項

事業名	誘客宣伝事業(各種補助事業)			科目	款	項	目	課名	産業課
					6	1	3	係名	商工観光係
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	農を基軸とした交流の村づくり			地域産業の振興					
施策	滞在型観光の推進			観光基盤の整備					
事業の目的	観光協会及び、誘客イベントやスキー大会の運営を支援し、観光産業の振興と観光事業者の経営安定を図る			事業の目標	協会加盟率増 観光入込者数増 宿泊者数増				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
○	誘客イベント補助 (3件997千円) たかやしろレース120人、お田植500人、関東ユース240人			式	1	1	100%		
○	スキー大会補助 (2件750千円) 知事杯424人、木島平選手権249人			式	1	1	100%		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績	
概算事業費	事業費		7,750千円		7,747千円
	概算正規職員人件費	0.3人	1,950千円	0.01人	65千円
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円
	概算人件費計	0.3人	1,950千円	0.0人	65千円
	合計		9,700千円		7,812千円
		正規職員人件費単価		6,500千円	臨時・嘱託人件費単価
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円
	一般財源	100.0%	7,750千円	100.0%	7,747千円
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円
	合計	100.0%	7,750千円	100.0%	7,747千円

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	A	誘客イベント及びスキー大会については、グリーンシーズン及びスキー場閑散期における有用な誘客事業として成果があった。今後も各団体等の誘客事業を支援する。 なお、観光協会運営補助金については、今後の産業ネットワーク組織設立の進捗状況を踏まえて補助内容を精査する。		
評価委員評価	公共性	B	目標達成は大きな課題であるが、事業内容を検証しながら継続が必要。ソフト事業は観光振興局に委託するなどし、誘客宣伝事業の窓口一本化を図るなど検討されたい。	
	公平性	B		
	有効性	B		
	効率性	B		
	総合	B		

① 基本事項

事業名	誘客宣伝事業		科目	款	項	目	課名	産業課
				6	1	3	係名	商工観光係
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略				
基本目標	農を基軸とした交流の村づくり			地域産業の振興				
施策	滞在型観光の推進			観光基盤の整備				
事業の目的	誘客宣伝事業により、観光産業の振興と観光事業者の経営安定を図る			事業の目標	協会加盟率増 観光入込者数増 宿泊者数増			
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率	
○	飯山駅観光案内所負担金(780千円)			式	1	1	100%	
○	信越9市町村広域観光連携会議負担金(222千円)			式	1	1	100%	
○	北信州ハーフマラソン負担金(150千円)			式	1	1	100%	
★	スノーリゾート研修視察(538千円)			式	1	1	100%	
★	台湾誘客現地関係者招致			式	1	0	0%	
○	飯山駅構内広告看板(735千円)			式	1	1	100%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績	
概算事業費	事業費		4,849千円		3,709千円
	概算正規職員人件費	0.3人	1,950千円	0.04人	260千円
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円
	概算人件費計	0.3人	1,950千円	0.0人	260千円
	合計		6,799千円		3,969千円
正規職員人件費単価			6,500千円	臨時・嘱託人件費単価	1,500千円
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円
	起債 過疎	12.4%	600千円	10.8%	400千円
	一般財源	72.2%	3,499千円	80.1%	2,970千円
	特財 北信広域補助金等	15.5%	750千円	9.1%	339千円
	合計	100.0%	4,849千円	100.0%	3,709千円

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	飯山駅を核とした広域観光の推進を目的とした9市町村広域観光連携会議を設立(H24年1月)して5年目、北陸新幹線飯山駅が開業(H27年3月)し3年目となり、遅い感はあるが広域観光推進の必要性が浸透し広域旅行商品造成など動きが出てきた。今後は、事務局の飯山市だけではなく構成団体から事業提案するよう努める。		
評価委員評価	公共性	B	広域観光推進における自治体間の連携が必要。	
	公平性	B		
	有効性	B		
	効率性	B		
	総合	B		

① 基本事項

事業名	農村体験交流促進事業			科目	款	項	目	課名	産業課
					6	1	3	係名	商工観光係
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	農を基軸とした交流の村づくり			移住定住の促進					
施策	滞在型観光の推進			交流拠点等の充実					
事業の目的	姉妹都市、友好都市との交流の拡大を図り、地域経済の活性化を図る			事業の目標	調布市宿泊助成件数 6,000泊 調布ウルトラキャンプ開催 1回 JAあおば子ども村、高島平キャンプ開催 板橋区舟渡スキーツアー				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
○	姉妹都市におけるイベント参加 (6事業)			式	1	1	100%		
○	友好都市および友好団体におけるイベント参加 (7事業)			式	1	1	100%		
○	子どもキャンプ等受入れ (4団体)			式	1	1	100%		
○	調布市宿泊助成件数(H29補助額 14,974,490円)			件	6,000	5,904	98.4%		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		2,240千円		1,714千円		
	概算正規職員人件費	0.5人	3,250千円	0.20人	1,300千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	0.5人	3,250千円	0.2人	1,300千円		
	合計		5,490千円		3,014千円		
正規職員人件費単価		6,500千円		臨時・嘱託人件費単価		1,500千円	
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	87.5%	1,960千円	83.7%	1,434千円		
	特財 直売所貸付料	12.5%	280千円	16.3%	280千円		
	合計	100.0%	2,240千円	100.0%	1,714千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	交流先イベント事業への出店に際しては、村特産品を楽しみにご来場されるお客様も多く、村のPRとして効果がある。なお、子どもキャンプなど受入れにあたっては、体験プログラムに限りがありマンネリ化し、先方から見直しを求められている。今後は本村に限らず岳北地域のアクティビティを組み入れながら多様なプログラムを提案する。		
評価委員評価	公共性	B	交流活動の現状とイベントを随時検証しながら効果的に進められたい。また、宿泊事業者のイベント出役についても再考されたい。	
	公平性	B		
	有効性	B		
	効率性	B		
総合	B			